



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社 翻訳センター 上場取引所 東  
コード番号 2483 URL <https://www.honyakuctr.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 俊一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括 (氏名) 魚谷 昌司 TEL 06-6282-5013  
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	5,467	0.6	352	0.4	355	△2.4	232	△2.0
2024年3月期中間期	5,429	3.6	350	△9.8	364	△6.7	236	△8.6

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 248百万円 (0.1%) 2024年3月期中間期 247百万円 (△11.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	69.41	—
2024年3月期中間期	70.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	8,117	6,295	77.5
2024年3月期	8,326	6,250	75.0

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 6,295百万円 2024年3月期 6,250百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,100	7.0	1,050	16.3	1,080	15.0	720	1.2	215.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	3,369,000株	2024年3月期	3,369,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	18,822株	2024年3月期	25,522株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	3,345,392株	2024年3月期中間期	3,338,692株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進むなか、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資意欲の高まりを背景に緩やかな回復基調で推移したものの、国際的な情勢不安の長期化に伴う原材料・エネルギー価格の高騰、為替変動による影響や世界的な金融引き締め政策の継続など、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは2023年3月期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画に基づき、当社グループの中核をなす翻訳事業の持続的成長を目指すとともに翻訳支援ツールや機械翻訳など最先端技術の積極的な活用を推し進め、企業のグローバル展開に伴う翻訳・通訳需要の獲得に努めてまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の経営成績につきましては、コアビジネスである翻訳事業が前年同期並みの水準で推移したことで通訳事業の継続伸長により、売上高は前年同期比0.6%増の5,467百万円となりました。利益面につきましては、営業利益は前年同期比0.4%増の352百万円、経常利益は持分法による投資利益の減少等により前年同期比2.4%減の355百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比2.0%減の232百万円となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間より、従来報告セグメントとして開示しておりました「コンベンション事業」は、量的な重要性が低下したため、報告セグメントから除外し「その他」として記載する方法に変更しております。また、前中間連結会計期間のセグメント情報は、当中間連結会計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

#### ① 翻訳事業

特許分野では企業の知的財産関連部署の一部大口顧客において受注が減少したものの、特許事務所からの受注は好調を維持し、売上高は前年同期比2.6%増の1,486百万円となりました。医薬分野では需要獲得に向け、顧客企業との継続的な関係性の構築と顧客基盤の拡大に努めるなか、内資製薬やCRO(医薬品開発受託機関)からの受注が前年同期に比べ増加した一方、外資製薬における受注低調が影響し、売上高は前年同期比0.8%減の1,222百万円となりました。工業・ローカライゼーション分野では自動車や電機をはじめとする顧客からの受注増加に加え、エネルギー関連企業から大型案件を獲得するなど、製造業からの受注は好調に推移したものの、非製造業からの受注が低調に推移し、売上高は前年同期比1.6%減の1,070百万円となりました。金融・法務分野では上場会社の英文開示に対する機運の高まりからIR関連文書の受注が好調に推移したことに加え、企業の管理系部署からの受注も伸長し、売上高は前年同期比5.1%増の333百万円となりました。

これらの結果、翻訳事業の売上高は前年同期比0.6%増の4,113百万円となりました。

#### ② 派遣事業

派遣事業においては、語学スキルの高い人材への底堅い需要により常用雇用者数は前年同期並みの水準で推移したものの、人材紹介による紹介手数料の減少などにより売上高は前年同期比1.9%減の583百万円となりました。

#### ③ 通訳事業

通訳事業においては、既存顧客である金融機関、医薬品関連会社、精密・通信機器メーカー、外資系コンサルティング会社からの継続受注に加え、顧客数の拡大が寄与し、売上高は前年同期比15.9%増の596百万円となり、当中間連結会計期間における過去最高の売上高を更新しました。

#### ④ その他

その他のセグメントにおいては、通訳者・翻訳者養成スクール「アイ・エス・エス・インスティテュート」の集客が好調に推移したものの、コンベンション事業縮小に伴う減収と外国への特許出願に伴う明細書の作成や出願手続きを行う株式会社FIPASの低調が影響し、売上高は前年同期比25.7%減の173百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は7,010百万円となり、前連結会計年度末に比べ278百万円減少いたしました。これは主に翻訳事業の代金回収により、受取手形及び売掛金が減少しているためであります。固定資産は1,106百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円増加いたしました。これは主に差入保証金が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は8,117百万円となり、前連結会計年度末に比べ208百万円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は1,590百万円となり、前連結会計年度末に比べ263百万円減少いたしました。これは主に買掛金及び未払法人税等が減少したことによるものであります。固定負債は232百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,822百万円となり、前連結会計年度末に比べ253百万円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は6,295百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益の計上及び剰余金の配当を実施したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は4,587百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円の増加となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは369百万円の収入(前年同期は426百万円の収入)となりました。

主な要因は、税金等調整前中間純利益354百万円、仕入債務の減少による支出92百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは68百万円の支出(前年同期は109百万円の支出)となりました。

主な要因は、差入保証金の差入による支出87百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払により217百万円の支出(前年同期は150百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月13日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,691,074	4,791,737
受取手形及び売掛金(純額)	2,292,548	1,804,772
仕掛品	154,713	188,703
その他	151,278	225,638
流動資産合計	7,289,616	7,010,850
固定資産		
有形固定資産	59,412	57,468
無形固定資産		
のれん	69,366	61,206
その他	30,274	28,502
無形固定資産合計	99,640	89,708
投資その他の資産	877,752	959,803
固定資産合計	1,036,806	1,106,980
資産合計	8,326,422	8,117,831
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	841,584	749,954
未払法人税等	213,290	151,809
返金負債	3,097	1,808
賞与引当金	287,010	273,160
その他	508,579	413,325
流動負債合計	1,853,562	1,590,057
固定負債		
役員退職慰労引当金	11,408	11,408
退職給付に係る負債	210,477	220,824
固定負債合計	221,885	232,232
負債合計	2,075,448	1,822,289
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	588,443	588,443
資本剰余金	478,823	478,823
利益剰余金	5,199,430	5,211,711
自己株式	△62,785	△46,303
株主資本合計	6,203,911	6,232,674
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	52,319	67,770
退職給付に係る調整累計額	△5,256	△4,903
その他の包括利益累計額合計	47,062	62,866
純資産合計	6,250,974	6,295,541
負債純資産合計	8,326,422	8,117,831

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	5,429,955	5,467,866
売上原価	2,874,383	2,886,389
売上総利益	2,555,572	2,581,477
販売費及び一般管理費	2,204,764	2,229,010
営業利益	350,807	352,466
営業外収益		
持分法による投資利益	17,675	10,084
その他	1,267	1,102
営業外収益合計	18,942	11,186
営業外費用		
為替差損	5,364	8,304
その他	0	1
営業外費用合計	5,364	8,306
経常利益	364,385	355,347
特別損失		
固定資産除却損	2,040	491
特別損失合計	2,040	491
税金等調整前中間純利益	362,345	354,855
法人税等	125,368	122,622
中間純利益	236,977	232,233
親会社株主に帰属する中間純利益	236,977	232,233

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	236,977	232,233
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	10,463	15,450
退職給付に係る調整額	271	353
その他の包括利益合計	10,735	15,803
中間包括利益	247,712	248,037
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	247,712	248,037
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	362,345	354,855
減価償却費	12,654	10,200
株式報酬費用	4,808	6,287
のれん償却額	5,867	8,160
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	848	△820
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,745	△13,850
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,100	△10,950
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,195	10,773
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△679	△3,381
受取利息及び受取配当金	△19	△355
持分法による投資損益 (△は益)	△17,675	△10,084
固定資産除却損	2,040	△1,510
売上債権の増減額 (△は増加)	233,490	491,688
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△116,431	△34,393
仕入債務の増減額 (△は減少)	37,749	△92,025
その他	1,540	△155,806
小計	512,887	558,788
利息及び配当金の受取額	19	355
法人税等の支払額	△86,821	△189,558
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>426,085</b>	<b>369,585</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,284	△2,938
有形固定資産の売却による収入	—	2,002
無形固定資産の取得による支出	△1,200	△2,940
事業譲受による支出	△117,345	—
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,000
差入保証金の差入による支出	△11,282	△87,086
差入保証金の回収による収入	25,733	25,835
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△109,380</b>	<b>△68,128</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△150,155	△217,326
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△150,155</b>	<b>△217,326</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,441	13,531
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	175,990	97,662
現金及び現金同等物の期首残高	3,938,982	4,490,194
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,114,973	4,587,856

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	計		
売上高						
翻訳						
特許	1,447,395	—	—	1,447,395	—	1,447,395
医薬	1,232,928	—	—	1,232,928	—	1,232,928
工業・ローカラ イゼーション	1,088,197	—	—	1,088,197	—	1,088,197
金融・法務	317,509	—	—	317,509	—	317,509
人材派遣	—	595,650	—	595,650	—	595,650
通訳	—	—	514,811	514,811	—	514,811
その他	—	—	—	—	233,464	233,464
顧客との契約から 生じる収益	4,086,030	595,650	514,811	5,196,491	233,464	5,429,955
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	4,086,030	595,650	514,811	5,196,491	233,464	5,429,955
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	16,877	3,304	351	20,533	1,448	21,981
計	4,102,907	598,954	515,162	5,217,025	234,912	5,451,937
セグメント利益又は 損失(△)	393,206	26,183	33,561	452,951	△104,016	348,934

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	452,951
「その他」の区分の利益	△104,016
セグメント間取引消去	1,873
中間連結損益計算書の営業利益	350,807

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	計		
売上高						
翻訳						
特許	1,486,285	—	—	1,486,285	—	1,486,285
医薬	1,222,951	—	—	1,222,951	—	1,222,951
工業・ローカラ イゼーション	1,070,621	—	—	1,070,621	—	1,070,621
金融・法務	333,709	—	—	333,709	—	333,709
人材派遣	—	583,885	—	583,885	—	583,885
通訳	—	—	596,977	596,977	—	596,977
その他	—	—	—	—	173,436	173,436
顧客との契約から 生じる収益	4,113,567	583,885	596,977	5,294,430	173,436	5,467,866
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	4,113,567	583,885	596,977	5,294,430	173,436	5,467,866
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	14,480	2,900	212	17,594	283	17,877
計	4,128,048	586,785	597,189	5,312,024	173,720	5,485,744
セグメント利益又は 損失(△)	316,670	12,861	40,157	369,689	△19,501	350,187

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	369,689
「その他」の区分の利益	△19,501
セグメント間取引消去	2,279
中間連結損益計算書の営業利益	352,466

3. 報告セグメントの変更等

当中間連結会計期間より、従来報告セグメントとして開示しておりました「コンベンション事業」は、量的な重要性が低下したため、報告セグメントから除外し、「その他」として記載する方法に変更しております。

また、前中間連結会計期間のセグメント情報は、当中間連結会計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。